

スピリチュアル物語

53話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語は、BRIDGE USAさんよりお引越ししました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トーランスマリオット内スター・バックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「でも、例えば、過度な期待はせずに、してくれたありがとうございました」というスタンスでいたとしていることもあるよなあ。それでいて相手はイイことした、と思い込んでいたから、こっちも仕方ないからお礼を言う羽目になつて、ありがた迷惑だと気付いてもらえない」ウイザットの言葉に、「または、感謝されて当然とか、時には見返りまで要求してくる人もいて、余りにもそれが酷くなつて断つたりしようものなら、今迄あなたの為を思つてこれだけ親切にしてやつたのに、と怒り出す場合もあるわよね」

う言つた。「一つ整理したいことは、こちらとしてはありがた迷惑なこと、斯坦スでいたとしている括りじゃが、相手には大まかに2種類のタイプがあるということじゃ」マグワートはそこで一旦言葉を切り、まではウイザットを見ながらこう続けた。「一つ目は、君が言った様に、本当に自分がイイことをしに自分はイイことをしていると思ひ込んでいる自己がしてもらう嬉しいことは、当然相手も嬉しいと思ひ込んでいる」そして、ケーズじゃ。自分がしてもらつて嬉しいことは、明らかに「一方、お嬢さんが例を出した感謝と見返りを要求してくるタイプは、全員ではないが、実は自分自身が人生

に於いて感謝が少ない場合が多いんじゃよ。つまり、自分が人生に対する満足していないので、人から感謝されたり、見返りを貰うことでの幸福を感じ様としている訳じゃ。そこで、感謝されなかつたり見返りがないと、悲しさが怒りになる程落胆する訳じゃな」と続けた。「感謝や見返りがないと悲しさが怒り続けるに?」「その件はまた次回話すとしよう」



★これまでのお話(1~51話)は魔女ともえのwebで読むことが出来ます。

www.majyotomoe.com 2月2日号につづく!